

# 平成20年度明石市一般廃棄物処理実施計画

## 計画の基本方針

平成19年3月に、実施計画の基本となる明石市一般廃棄物処理基本計画が改定され、基本理念『環境への負荷が小さく持続可能な循環型のまち・あかし』の実現に向けて取り組むべき施策の基本方向が示された。

本年度は、ごみについては、紙類・布類の分別収集の充実や粗大ごみの戸別収集制度の安定化をより一層、目指すとともに、事業系ごみ減量対策の強化を図る。また、減量化や再資源化を促進するために、教育委員会や学校と連携し、環境学習の推進を行うとともに、ごみ減量推進員・協力員や市民の活動の支援を行うなどパートナーシップのしくみづくりに取り組む。

さらに、第3次最終処分場については、安定的利用と延命化を図る。

一方、し尿及び生活雑排水についても適正に処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

## 【ごみ及び資源物編】

### 1 ごみ及び資源物の排出計画

#### (1) ごみの排出計画

区分	ごみの種類		収集（排出）量（t）
家庭系	直営	燃やせるごみ	33,830
		燃やせないごみ	2,110
		資源ごみ（かん・びん・ペットボトル）	1,910
		粗大ごみ	600
		計	38,450
	委託	燃やせるごみ	23,970
		燃やせないごみ	1,400
		資源ごみ（かん・びん・ペットボトル）	1,330
		計	26,700
	一掃斉清	燃やせるごみ	500
		燃やせないごみ	480
		計	980
		プラスチック製容器包装（モデル事業）	30
		計	66,160
事業系	許可	燃やせるごみ	39,920
		燃やせないごみ	1,110
		計	41,030
直接搬入		燃やせるごみ	4,130
		燃やせないごみ	2,050
		計	6,180

合	計	113,370
動物の死体		2,600体

(2) 資源物の排出計画

紙類・布類(新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、古布の5品目)の年間収集(排出)量は、4,500tとする。

## 2 ごみの処理主体

(1) 収集運搬

ア 家庭系ごみ

(ア) 燃やせるごみ

直営及び委託とする。

燃やせないごみ

資源ごみ(かん・びん・ペットボトル)

(イ) 紙類・布類(資源物)

委託とする。

(ウ) 粗大ごみ

直営とする。戸別有料収集とする。(家電4品目等除く。)

(エ) 一時多量ごみ

排出者(直接搬入)又は許可業者とする。

イ 事業系ごみ

排出者(直接搬入)又は許可業者とする。

許可業者は、木村工業(株)、魚住産業(株)、(有)明和興業、(有)明宝商会、(有)明石清掃、(有)西神清掃、(有)明進清掃、田路興産(有)、(有)住野商店、三和美研(有)、金澤産業(株)、杉野興業及び(株)猪名川動物霊園(感染性のない実験動物の死体及び糞並びにマットに限る。)の13業者とする。明石クリーンセンターに直接搬入する業者は、市内に営業所を有することとする。

ウ 動物の死体

委託とする。

(2) 中間処理

ごみの焼却及び破碎選別の中間処理は、それぞれごみ焼却施設及び破碎選別施設において委託で実施する。動物の死体については、委託で実施する。

(3) 最終処分

不燃物の一部、破碎選別後の残さ及び焼却灰の処分は、本市最終処分場において委託により実施する。

なお、一部の焼却灰の処分は、大阪湾広域臨海環境整備センター神戸沖埋立処分場(フェニックス計画)において委託により実施する。

(4) 搬入チェック

ごみの適正処理の観点から、中間処理、最終処分場に搬入されるごみについて展開ヤードを展開するなど、直営及び委託により、搬入チェックを強化する。

## 3 ごみ処理実施計画

(1) 排出抑制・再資源化計画

ア 分別排出の徹底

出前講座、施設見学等において、ごみの出し方のマナーを指導するとともに、資源ごみ(かん、びん、ペットボトル)及び紙類・布類の分別排出の徹底を図る。特に、事業系ごみの適正な分別排出に向けた取り組みを強化する。

- イ 紙類・布類の資源化 紙類・布類の分別収集量拡大のため、より一層、分別の徹底を啓発していく。特に、紙箱（ボール紙）について分別排出への周知を強化する。  
収集予定量 4,500 t
- ウ 集団回収の推進 各地域の子ども会、自治会等の実施する集団回収活動を積極的に支援する。
- (ア) 助成金交付 回収した資源物 1 kgにつき 4 円を活動団体へ助成する。  
回収予定量 11,000 t
- (イ) 協力金交付 回収した古紙 1 kgにつき、2 円以内を回収業者へ交付する。  
回収予定量 10,300 t
- (ウ) 活動用具交付 集団回収に必要な活動用具（消耗品等）を活動団体へ交付する。
- (エ) びん・かん回収助成 カレットびん・スチール缶の回収業者に 1 kgにつき 15 円以内の助成を行う。  
回収予定量 カレットびん 100 t スチール缶 30 t
- エ リサイクル率の向上 リサイクル率(リサイクル量÷ごみ発生量) 22.0%を目指す。(平成 22 年度リサイクル率【第 1 次中間目標】を 26%に掲げる。)  
※ ごみ発生量=排出抑制量+ごみ排出量  
※ ごみ排出量=排出段階の資源化量+ごみ処理量  
※ リサイクル量=排出抑制量+排出段階の資源化量
- オ ごみ減量推進員制度 ごみ減量推進員及びごみ減量推進協力員と協働し、ごみの減量化・資源化の促進などについて、地域との連携を保ちつつ推進する。
- カ 広報・啓発活動 学習副読本、3R 推進のためのガイドブック、事業所ごみ減量のためのマニュアル、資料等の作成、配布や講座、イベント等の開催を行うとともに、リサイクルプラザの充実や双方向性を重視したホームページ運営を行う。
- キ プラ製容器包装廃棄物（モデル地区）の収集 大蔵谷清水自治会においてプラスチック製容器包装分別収集モデル事業を継続する。
- ク バイオディーゼル燃料化 学校給食等から生じる廃油を回収してバイオディーゼル燃料を精製する。
- ケ パソコンの再資源化 家庭で不要になったパソコンについて、市での収集及び明石クリーンセンターへの直接搬入は行わない。
- コ 事業所ごみ減量化 大規模事業所（床面積 1,000 m<sup>2</sup>超の量販店、あるいは 3,000 m<sup>2</sup>以上の事業用建築物所有者、並びに年間 200 t 以上の事業系一般廃棄物を排出する多量排出事業者）に対して

減量化計画書の提出、一般廃棄物管理責任者の選任等の指導業務を行い、減量化・適正排出の徹底を図る。

(2) 適正排出計画

- ア 在宅医療廃棄物 在宅医療の普及に伴い、家庭から排出される感染性廃棄物については、医療機関等と連携し、適正処理を推進する。
- イ 不適正排出 爆発、火災、針刺し事故等を防ぎ、安全に処理するため、市民や事業者に対する分別の徹底を図る。
- ウ 不法投棄への対応強化 転入者に対して、ごみカレンダーやごみハンドブックを配布し、適正処理について市民周知を図る。
- エ ごみステーション（置場）の適正配置 宅地や共同住宅の開発にあたり、開発事業者に対し、条例による事前協議を徹底し、ごみステーション（置場）の適正配置に努める。
- オ 開発協議と事業所指導 事業所などの開発における事前協議の際、ごみの資源化と適正処理を進めるため、条例により必要なごみ集積施設等の確保を指導する。

(3) 収集運搬計画

- ア 収集人口 293,500人
- イ 収集区域 市内全域
  - (ア) 直営収集区域 委託収集以外の区域
  - (イ) 委託収集区域
    - a 区域

町	名
松が丘1～5丁目、大蔵谷字狩口、荷山町、太寺1～4丁目、太寺大野町、太寺天王町、大蔵町、大蔵中町、大蔵本町、大蔵八幡町、大蔵天神町、上ノ丸1～3丁目、山下町、天文町1～2丁目、人丸町、東人丸町(一部)、東仲ノ町、桜町、大明石町1～2丁目(JR以南)、樽屋町、材木町、港町、日富美町、岬町、大観町、相生町1～2丁目、鍛冶屋町、中崎1～2丁目、本町1～2丁目	

b 区域

町	名
松が丘5丁目(一部)、大蔵谷字(狩口を除く)、大蔵谷奥、松が丘北町、朝霧台、朝霧山手町、朝霧北町、東山町、朝霧町1～3丁目、北朝霧丘1～2丁目、東朝霧丘、中朝霧丘、西朝霧丘、東野町、東人丸町(一部)、鷹匠町、茶園場町、大明石町1～2丁目(JR以北)、船上町(一部)、和坂1～3丁目、西明石町1～5丁目、新明町、林崎町1～3丁目、南貴崎町、林1～3丁目、松江(一部)、和坂(アメリコート)、旭が丘、鳥羽(一部)、野々上1～3丁目	

c 区域

町名
大道町 1～2 丁目、和坂、松の内 1～2 丁目、花園町、鳥羽（一部）、沢野 1～2 丁目、明南町 1～3 丁目、小久保 1～2 丁目、小久保、西明石北町 1～3 丁目、北王子町、王子 1～2 丁目、西新町 1～3 丁目、硯町 1～3 丁目、田町 1～2 丁目、船上町、立石 1～2 丁目、和坂稲荷町、宮の上、南王子町、野々上 3 丁目（一部）、藤江（一部）、大久保町森田（一部）、大久保町松陰（一部）、大久保町大久保町（一部）

d 区域  
 (ウ) 許可収集区域

その他、市が臨時に指示する区域  
 市内全域

ウ 収集方法等

収集区分	回数	収集方法
燃やせるごみ	週 2 回	ステーション方式
燃やせないごみ	月 2 回	ステーション方式
資源ごみ（かん、びん、ペットボトル）	月 2～3 回	ステーション方式
粗大ごみ	随 時 （日曜日を除く）	戸別収集
紙類・布類（新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、古布）	月 1 回	ステーション方式
動物の死体	随 時 （日曜日を除く）	戸別収集
事業系ごみ	燃やせるごみ	随 時 排出者（直接搬入） 又は許可業者
	燃やせないごみ	
	資源ごみ （かん、びん、ペットボトル）	

(ア) 収集方法（家庭系ごみ） ステーション方式（ごみ置場）による収集とする（粗大ごみ及び動物の死体を除く）。なお、新たに、ステーション（ごみ置場）を設置する場合、明石市開発事業における手続及び基準等に関する条例に基づくものとする。

(イ) 排出方法  
 家庭からごみを出すときは、燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源ごみに分けて、中の見える無色またはブルー系で標準サイズ（45リットル入り）のポリ袋に入れて、住んでいる地域によって決められた収集日当日の朝、午前8時までステーション（ごみ置場）に出すこと。

(ウ) 粗大ごみ  
 標準サイズ（45リットル入り）のポリ袋に入らない大きさ、又は、ごみの重さが5キログラム以上のものをいう。

(エ) 紙類・布類  
 新聞紙（折り込みちらしを含む。）、雑誌・雑がみ、段ボール、紙パックは、種類ごとにひもでしばって、布類は、標準サイズ（45リットル入り）のポリ袋に入れて、

地域によって決められた収集日当日の朝、午前8時まで  
に、普段、燃やせないごみ、資源ごみを出しているステ  
ーション（ごみ置場）に分けて出すこと。

エ 粗大ごみの受付方法 粗大ごみ受付センターにおいて、電話による個別の申し  
込みを受け付け、収集日と収集場所を調整する。

(ア)粗大ごみ受付センター 委託により運営する。

受付日時は、年末年始を除き毎週月曜日から金曜日、午  
前9時から午後7時とし、1回の収集につき受けでき  
る点数は5点までとする。

(イ)粗大ごみ処理券 有料化に伴う粗大ごみ処理券の取扱いについては、地  
球環境課、環境第2課、各市民センター（大久保・魚住・  
二見）、各サービスコーナー（明舞、明石駅、西明石、  
江井島、高丘）ほか別に告示する粗大ごみ処理券取扱店  
にて行うものとする。

#### (4) 中間処理計画

ア 燃やせるごみ 下記の焼却施設により焼却処分する。

〔焼却施設の概要〕

施設名	明石クリーンセンター焼却施設
所在地	明石市大久保町松陰1131
型式	全連続燃焼式焼却炉
焼却能力	480t/24h（160t×3系列）

イ 燃やせないごみ  
粗大ごみ 下記の破砕選別施設により破砕し、可燃物、不燃物、資  
源化物に選別する。

〔破砕選別施設の概要〕

施設名	明石クリーンセンター破砕選別施設
所在地	明石市大久保町松陰1131
処理方法	横型2軸せん断式破砕及び衝撃せん断併用 回転式破砕
処理能力	破砕系統 60t/5h 資源化系統 32t/5h

ウ 資源ごみ 上記の破砕選別施設により資源化物ごとに選別し、再生  
処理業者に委託し資源化する。

エ 動物の死体 委託で焼却処分する。

オ 適正処理が困難なごみ 明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第7条第1項  
第9号の規定に基づき、ごみの処理に際して排出又は搬入  
してはならないごみについては、下記のとおり例示する。

- ・引っ越し、庭木の剪定等により臨時的又は一時的に多  
量に排出するもの
- ・消火器
- ・金庫（耐火性を有するものに限る。）
- ・タイヤ、バッテリー、バイク
- ・ホイール・バンパー・シート（自動車用に限る。）

- ・ピアノ
- ・農機具、漁具
- ・仏壇、仏具
- ・一定規模以上のダンベル（金属製のもの）・洗面台・電子ピアノ・流し台・すべり台・卓球台・ブランコ・浴槽・草刈機（エンジン付）

(5) 最終処分計画

不燃物の一部及び、中間処理施設からでる残さを下記の最終処分場において埋立処分する。

なお、焼却残さの一部は、大阪湾広域臨海環境整備センター神戸沖埋立処分場へ搬出する。

〔施設の概要〕

施設名	明石市一般廃棄物最終処分場（第3次最終処分場）
所在地	明石市大久保町松陰地内（明石クリーンセンター内）
埋立面積	59,000 m <sup>2</sup>
全体容量	420,000 m <sup>3</sup>
残存容量	420,000 m <sup>3</sup> （平成19年度当初）

(6) 中間処理・最終処分量（ごみピット内前年度分、産業廃棄物受入分を含む。）

ア 区分別処理量

処 理 区 分	処 理 量 (t)		
焼 却	110,930		
埋 立	1,320		
資 源 化	び ん	700	2,970
	か ん	610	
	ペットボトル	410	
	そ の 他	1,250	
合 計	115,220		

イ 埋立の内訳及び量

区 分	量 (t)	容 量 (m <sup>3</sup> )
直 接 埋 立	1,230	11,100
破 碎 選 別 残 さ	90	
焼 却 残 さ	10,360	
合 計	11,680	11,100

## 【し尿及び浄化槽汚泥編】

### 1 し尿及び浄化槽汚泥の排出計画

区 分	収集（排出）量（kl）
し 尿	4, 500
浄 化 槽 汚 泥	6, 850
合 計	11, 350

### 2 生活排水処理計画

#### (1) 処理の目標

生活排水処理基本計画に基づき、公共下水道の整備を基盤とした生活排水処理対策を推進する。

ア 計画処理人口	293,500人	
イ 下水道供用開始人口	290,565人	
ウ 水洗化人口	278,259人	(公共下水道人口 275,456人) (合併浄化槽人口 2,803人)
エ 非水洗化人口	15,241人	(単独浄化槽人口 10,311人) (し尿収集人口 4,930人)
オ 水洗化率	94.8%	

#### (2) し尿収集運搬計画

ア 収集人口	4,930人
イ 収集区域	市内全域
ウ 収集運搬	委託業者2社による収集運搬とし、委託業者別の収集区域はつぎのとおりとする

##### a 阪神連合清掃(株)

収 集 区 域	町 名
明石川以東の区域 (朝霧川以東でJR神戸線以北及び東人丸町を除く)	松が丘北町の一部、東山町、朝霧北町、朝霧台、朝霧山手町、朝霧町1～2丁目及び3丁目の一部、北朝霧丘1～2丁目、東霧丘、中朝霧丘、西朝霧丘、荷山町、東野町、太寺大野町、太寺天王町、太寺1～4丁目、人丸町、山下町、上ノ丸1～3丁目、明石公園、鷹匠町、茶園場町、大蔵八幡町、大蔵町、大蔵中町、大蔵本町、大蔵天神町、天文町1～2丁目、相生町1～2丁目、中崎1～2丁目、鍛冶屋町、桜町、東仲ノ町、大明石町1～2丁目、本町1～2丁目、材木町、樽屋町、日富美町、大観町、港町、岬町、大蔵海岸通1～2丁目
明石川以西の区域 (JR神戸線以北、市道藤江23号線、国道2号線、(都)大久保石ヶ谷線、(都)江井島松陰新田線、市道大久保87号線、市道大久保93号線、西脇皿池	西新町2～3丁目、南王子町、硯町1～3丁目、田町1～2丁目、新明町、船上町、和坂稲荷町、宮の上、立石1～2丁目、貴崎1～5丁目、南貴崎町、林崎町1～3丁目、林1～3丁目、松江、川崎町 西明石南町1～3丁目、別所町、東藤江1～2丁目、藤が丘1～2丁目、藤江の一部、森田の一部、松陰の一部、大久保町の一部、大窪の一部、山手台1丁目の一部、高丘4丁目、西脇の一部、谷八木、若葉、八木、福田、福田1丁目～3丁目、江井島、西島、ゆりのき通1～3丁目

及び西脇と緑が丘・山手台との町界に囲まれた区域並びに西明石西町の区域を除く)	
魚住町の区域	魚住町全域
二見町の区域	二見町全域

※（都）は都市計画道路の略

b (有)平野興業

収 集 区 域	町 名
朝霧川以東で J R 神戸線以北の区域	松が丘 1 ～ 5 丁目、松が丘北町の一部、大蔵谷（狩口、清水、東山西山）、大蔵谷奥、朝霧町 3 丁目の一部
東人丸町の区域	東人丸町
西明石西町の区域	西明石西町 1 ～ 2 丁目
明石川以西の区域（ J R 神戸線以北、市道藤江 2 3 号線、国道 2 号線、（都）大久保石ヶ谷線、（都）江井島松陰新田線、市道大久保 8 7 号線、市道大久保 9 3 号線、西脇皿池及び西脇と緑が丘・山手台との町界に囲まれた区域）	藤江の一部、松陰新田、森田の一部、松陰の一部、大久保町の一部、大窪の一部、高丘 1 ～ 3 丁目及び 5 ～ 7 丁目、山手台 1 丁目の一部及び 2 ～ 4 丁目、西脇の一部、緑が丘

※（都）は都市計画道路の略

エ 収集回数等 原則として月 1 回（ 2 5 日～ 3 0 日間隔）収集とする。

(3) 浄化槽汚泥収集運搬計画

- ア 収集人口 1 3, 1 1 4 人
- イ 収集区域 公共下水道処理区域の一部とその他の市内全域
- ウ 清掃等 市内の浄化槽設置者と許可業者 7 社との個別の契約により、定期的に許可業者が清掃及び収集運搬する。

(4) 中間処理計画（し尿、浄化槽汚泥）

下記施設において一次処理した後、公共下水道で処理する。

〔施設の概要〕

施設名 明石市魚住清掃工場  
所在地 明石市魚住町西岡 2 1 1 9 - 9

形 式 好気性処理方式  
公称能力 145 kℓ／日

上記施設で処理後発生する汚泥は脱水した後、前述した明石クリーンセンターで焼却する。

(5) 最終処分計画

最終処分は、前述した明石市一般廃棄物最終処分場で埋立処分する。

(6) 処 理 量

区 分	処 理 量 (kℓ)
し 尿	4, 5 0 0
浄 化 槽 汚 泥	6, 8 5 0
合 計	1 1, 3 5 0